

成年後見事業

2023 年度報告

成年後見人受任

【実績】

- ・新規受任数 5名 (後見 4名 保佐 1名)
- ・後見終了数 12名 (後見 9名 保佐 2名 補助 1名)
(ご逝去 11名、交代 1名)
- ・年度末の受任件数は以下のとおりです
法定後見 108名 (後見 91名 保佐 13名 補助 4名)
任意後見契約 1名

【考察】

- ・限られた人員での支援優先した結果、積極的な受任を行わないという方針に沿って今年度は活動した。しかし予想以上に亡くなった方が多く、結果として受任者数のマイナスになった。

後見申立の支援

【実績】

- ・相談件数 15件
 - ・当法人が後見人等を受任した件数 5件
 - ・当法人以外が後見人等になった件数 1件
 - ・支援継続中（相談、申立等）の件数 4件
 - ・途中で中止、保留となった件数 5件

【考察】

- ・法人内で候補者となって申立をするかどうかを検討する機会を設けた結果、申立支援の相談数に比べ、候補者となって申立する支援の割合が減りました。

2023 年度報告

後見体制の充実

【実績】

- ・過去最少の人員で、現状の支援内容の継続を優先することで精一杯でした。

【考察】

- ・法人後見人としての特徴である財産管理だけでなく、身上監護の質を落とさず支援を継続している。

死後事務対応

【実績】

- ・お亡くなりになられた方は過去最多 11 名となりました。

【考察】

- ・亡くなられた後の相続人調査、引継ぎに時間を要した。
- ・スムーズに代表相続人への引継ぎができるよう事前に調査をしておくことも検討していく。

任意後見契約

【実績】

- ・年度末において任意後見契約は昨年度同様 1 名となっていますが、手続き中の方が 3 名となっています。

【考察】

- ・任意後見開始までの身守りをどのような頻度、方法で行っていくかが課題となっています。

自立支援事業

財産管理サービス

【実績】

- ・20名の方と財産管理サービス契約を締結しました。うち在宅者が9名と最多となつたほか、病院入院患者も6名となっています。
- ・一方、15名の方との財産管理サービス契約が終了しました。終了事由としては、契約者死亡が11名、成年後見人等就任（当法人就任分を含む）が1名、親族等への引継ぎが4名となっています。
- ・年度末時点の契約者数は43名となっています。

【考察】

- ・在宅者への対応
 - 在宅者からの相談の伸びが大きくなっています。
 - 財産管理だけで対応できないケースが増えています。例えば、自宅を追い出されたケースでは、新たな住居を探す支援も必要となります。
- ・財産管理サービスは利用者本人との信頼関係の上に成立します。本人が利用を躊躇したり、協力してもらえない場合は契約を行わない、契約解除等の対応を積極的に取っています。

2023 年度報告

死後事務委任契約

【実績】

- ・5 名の方と死後事務委任契約を締結し、前年度に契約した 2 名とわせて 7 名となりました。
- ・うち 5 名はお亡くなりになったため、契約に基づいて死後事務を実施しました。
- ・ご存命の 2 名は施設入居および在宅で生活をされており、定期的な見守り（状況把握）を継続しています。

【考察】

- ・相談者は余命宣告や病気の進行状況等より相談時点で死後事務が近い将来発生する方であり、契約から事務実施までの見守り期間が短くなっています。
- ・本人の精神状態には配慮しつつ、滞りなく事務を行うためのヒアリングや調整を限られた時間に行なうことが求められます。そのための職員のスキル向上にかかる研修やグリーフケア等の整備も必要な状況となっています。
- ・本支援の利用料の設定について、業務内容に見合っていない部分もあり、利用料の適正化が急務となっています。

切手・印紙の販売

【実績】

- ・通年を通じて、切手や収入印紙を販売することができました。

【考察】

- ・案内不足もあり、年賀状等の販売を積極的に行なうことができませんでした。

第三者評価事業

評価事業

【実績】

- ・計 24 件

障がい関係施設	8 件	児童心理施設	2 件
救護施設	2 件	母子	3 件
児童養護施設	7 件	児童自立施設	1 件
乳児院施設	1 件		

- ・詳細は別表（8 ページ）をご参照ください

【経緯】

- ・福祉サービス第三者評価事業は、2000 年の社会福祉法施行時に設けられた事業で、施設等がみずからが行なっている支援サービスの点検とさらなる質の向上を目指すために、努めて自主的に実施するようにとされたものです。2012 年からは、社会的養護関係施設においては 3 か年に 1 度の受審が義務付けられました。
- ・当法人では、設立後すぐ（2006 年 12 月）に大阪府から評価機関の認証を受け、主として障がい児・者施設を対象に実施してきました。また、2019 年 6 月には全国社会福祉協議会の認証を得、社会的養護関係施設の評価（別表では太字）も実施してきています。

調査評価者

【人員】

- ・23 年度中に、1 名が評価調査者養成研修を修了し、24 年度から当機関の評価者として登録予定です。これにより評価調査者は 15 名となり、うち 10 名は社会的養護関係の評価にも携わります。

【研修等】

- ・かねてから懸案であった評価調査者の技能向上に向けた研鑽の機会を 23 年 8 月 26 日（土）大阪府社会福祉会館にて『意見交換会』という形で持つことができました（11 名が参加）。第一部で報告書をまとめる立場から「評価の視点や評価コメント記述の要領」について解説。第二部では、それぞれの思いや悩ましいことがらなどを出し合い、2 名のオブザーバーから示唆に富んだご意見も頂戴して有意義な場となりました。

2022 年度報告

【別表】2023(令和5)年度 福祉サービス第三者評価実施状況

訪問調査日	種別	施設名
6月28・29日	救護施設	りんくうみなと
9月27・28日	障害者支援施設	くまとり弥栄園
10月11・12日	障害児支援施設	すみれ愛育館
10月24・25日	児童養護施設	武田塾
11月6・7日	母子生活支援施設	北さくら園
11月8・9日	障害者支援施設	箕面市立ささゆり園
11月14・15日	児童養護施設	大阪市立弘済みらい園
11月14・15日	児童心理治療施設	大阪市立弘済のぞみ園
11月21・22日	母子生活支援施設	ルフレ八尾
11月28・29日	障害者支援施設	第3共働舎花の会
11月29・30日	障害児支援施設	平和寮
12月12・13日	児童心理治療施設	兵庫県立清水が丘学園
12月20・21日	障害者支援施設	ワークセンター・ささゆり
1月17・18日	障害者支援施設	太平
1月18・19日	児童養護施設	生駒学園
1月23・29日	乳児院	大念佛寺乳児院
1月23・30日	母子生活支援施設	ボ・ドーム大念佛
1月25・26日	児童養護施設	入舟寮
2月1・2日	救護施設	みなと寮
2月14・15日	児童養護施設	池島寮
2月20・21日	障害者支援施設	ぶるうむ此花
2月26・27日	児童養護施設	泉ヶ丘学院
2月28・29日	児童養護施設	羽曳野荘
3月18・19日	児童自立支援施設	大阪府立修徳学院

以上 24 件

人権啓発事業

金銭管理サービス、成年後見制度等の啓発

【実績】

- ・イベント出展を行いました。
 - ①北区ボランティアフェスティバル（堺市北区、2023年11月25日）
 - ②まつばらボランティア市民活動フェスタ（松原市、2023年11月29・30日）
 - ③わくフェス（大阪狭山市、2024年2月11日）
 - ④ひろとん（富田林市、2024年2月18日）

①



②



③



④



- ・講師派遣を行いました。

○派遣先：ヒューマンアカデミー

日時：2023年7月7日（金）、2024年1月18日（木）

場所：ヒューマンアカデミー心斎橋校

内容：権利擁護、成年後見制度について

○派遣先：マツサポ出張講座⑤

日時：2024年2月13日（火）

場所：ゆめニティプラザ 多目的ホール

内容：特殊詐欺被害、成年後見制度について

⑤



2023 年度報告

JKA 補助事業



【実績】

- ・公益財団法人 JKA より「2023 年度 地域共生を通しての少子高齢化社会の進展に伴う、人材不足等の改善を目指す活動、調査・研究等補助事業」の補助を受けて『金銭管理コーディネーター養成事業』を実施しました。
- ・活動の様子、成果はホームページに掲載しています。

[主な内容]

- ・開発委員会の実施
 - ⇒弁護士やファイナンシャルプランナー、施設責任者の意見をもらいながら本事業を進めました。
 - ⇒養成研修で活用するテキストブックを作成し、発行しました⑥。
- ・養成研修の開催⑦⑧
 - ⇒テキストブックを活用して、3 日間にわたる研修会を開催しました⑦。
 - ⇒高齢者や障がい者施設職員、地域包括支援センター等の職員が講義やワークシヨップを通じて金銭管理について学びました。
 - ⇒研修終了後に集合写真を撮影しました⑧。

⑥



⑦



⑧



人権啓発事業（つづき）

2023 年度報告

大阪法人後見協議会への参加

【実績】

- ・大阪で法人後見活動を実施している団体が、情報交換や活動の質を向上させるための研修等を目的として「大阪法人後見協議会」を発足しました。
- ・2023年11月11日（土）に「法人後見のこれから」と題してキックオフとして記念イベントを開催しました⑨。大学教授、大阪府の報告のほか、構成団体の活動紹介を行いました。
- ・また、2024年3月2日（土）には、意思決定支援をテーマに実践報告やパネルディスカッションを開催しました⑩。

⑨



⑩



近畿ブロック研修会の実施

【実績】

- ・全国権利擁護支援ネットワークが全国をブロックに分けて開催している研修会の現地事務局を担いました。
- ・「新しい形の金銭管理を模索する」と題して、全国で先進的な活動を行っている愛知県豊田市や高知県黒潮町の事例や地元堺の堺市社協、じょぶライフだいせん（大阪府障害者福祉事業団）の取組みを共有しました⑪。

⑪



NPO 法人化 20 周年事業

2023 年度報告

少しずつ気分を高めています

- カウントダウンをしています



(日数は 4 月 1 日のものです)

事務局

会員数の減少

【実績】

- ・正会員：10名【前年度比△4名】
- ・賛助会員：36名（98口）【同△13名（△30口）】

【課題】

- ・正会員、賛助会員ともに会員数が減少しています。
- ・新規加入がほとんどなく、活動内容の発信と会員募集の啓発強化が求められます。

研修/交流

【実績】

- ・当事者目線の権利擁護支援全国フォーラム in 神奈川
～これから地域共生社会と障害福祉～
 - 主催：全国権利擁護支援ネットワーク、神奈川県
 - 2024年2月3・4日、はまぎんホール ヴィアマーレ（神奈川県）で開催
 - 北中が参加
- ・権利擁護近畿ブロック交流会
 - 主催：全国権利擁護支援ネットワーク
 - 2024年3月12日、ZOOMで開催
 - 白土、北中が参加

2023 年度報告

機関紙の発行

- 実績
- ・年 3 回（第 31 号：2023 年 6 月、第 32 号：2023 年 10 月、第 33 号：2024 年 1 月）の発行を行いました。
 - ・紙面構成をリニューアルしました。1 面には事務所のある堺市に点在する古墳の写真（堺市提供）を掲載しているほか、最寄り駅のなかもず駅周辺にあるおすすめグルメも紹介して、より地元を知る機会としました。

第 31 号



第 32 号



第 33 号



ホームページの更新

- 実績
- ・JKA 補助事業に関する発信を中心に行いました。
 - ・通常時においても少ないながらもコンスタントにアクセスがある状態となっています。

- 課題
- ・JKA 補助事業以外の発信が少なくなっています。
 - ・基礎情報においても更新が必要な箇所があり、早期に更新が必要となっています。

総会、監査

2023 年度報告

総会の開催

【実績】

日時：2023 年 6 月 17 日（土） 14～16 時

会場：阿倍野市民学習センター 第 2 会議室

内容：評議員の改選、2022 年度報告・決算、2023 年度事業計画・予算

※新型コロナ対策のため、懇親会は中止しました



監査の実施

【実績】

日時：2023 年 10 月 20 日、2024 年 4 月 25 日

場所：法人事務所

内容：2023 年 4 月度～2024 年 3 月度の監査

※上記監査以外にメール等でやりとりを行っています



理事会・評議員会

2023 年度報告

理事会・評議員会の開催

【実績】

第 1 回理事会・評議員会

日時：2023 年 5 月 27 日（土） 14 時～16 時

会場：法人事務所終了後に懇親会を行いました

内容：評議員改選、総会開催について

2022 年度事業報告・決算、2023 年度事業計画・予算

第 2 回理事会・評議員会

日時：2023 年 8 月 11 日（金・祝） 14 時～16 時

会場：法人事務所

内容：2023 年度第 1 四半期事業報告

第 3 回理事会・評議員会

日時：2024 年 1 月 20 日（土） 14 時～16 時

会場：法人事務所

内容：2023 年度第 2・3 四半期事業報告

第 4 回理事会・評議員会

日時：2024 年 3 月 16 日（土） 14 時～16 時

会場：法人事務所

内容：2023 年度事業報告・決算、2024 年度事業計画・予算



【第 2 回理事会・評議員会の様子】



【第 3 回理事会・評議員会の様子】